



オミクロン警戒中

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和3年12月24日 第8号(19-50)

発行責任者：校長 関田 誠

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ！』

12/6(月)朝礼校長講話

『みんなのしあわせを創る』話

～大宮中のSDGs学習を通して考える～

先日、生徒会本部とボランティア部を中心に、子小中連携で子ども服の古着を集めて、世界中の紛争地帯や難民の子どもに贈る企業の活動に参加しましたね。きっかけはPTA役員の方の提案です。その結果36箱も集まり、皆さんと家族の協力で感激しました。この活動はSDGs（持続可能な開発目標）学習として実施しました。SDGsでは17のゴール（更に細かい169個のターゲット）が設定されています。

海に囲まれた日本に住んでいると気付にくい難しい課題が、世界にはたくさんあります。二つ例を挙げます。一つは移民や難民の問題です。ヨーロッパは陸続きの国の集まりですが、EU連合のシェンゲン協定により、参加する国同士の移動の自由が保障されています。スイス（EU非加盟国）では、ジュネーブ市民は30分ほど自転車をこいで、国境をパスポートなしに通過して、フランスの物価の安いスーパーに買い物に行く光景が普通に見られます。その一方で、ヨーロッパの国々は、歴史、人種、文化、宗教の背景がそれぞれ異なり、時には海より深い溝が現れます。先週ニュースで、ベラルーシとポーランドの国境で、中東などから集結する移民を巡って緊張が高まっている事が報道されていましたね。氷点下の森の中で、国境に巡らされた有刺鉄線の柵の前で、大人から幼児までたくさんの移民が行き場を失って、たき火で寒さをしのぎ、飢えや病気に苦しんでいます。

二つ目の例は、コロナのワクチン接種。多くの先進国では摂取率は70%を超えていますが、アフリカ全体では7%に留まっています。ワクチンは世界中に上手く回る仕組みになっていません。取り残された国があれば、そこからデルタの次はオミクロンと変異ウイルスが繰り返し出現します。



国連が提唱するSDGsの精神は、世界中の78億人のしあわせの仕組みを作ること。地球上の『誰一人として取り残さない』という強い信念です。これがどれだけ難しいことか、皆さんにも理解できると思います。ただし、どんなに困難であっても、克服できなければ私たちの未来は上手く持続しない。では、地球規模の課題に対して、個人で、皆さん中学生にできることは何でしょうか？例えば『環境に優しい生活』は、電気や水が無駄遣いしない、食材を無駄にしない、環境に優しい商品を選ぶ。『人に優しい生活』は、友達を仲間外れにしない、外出先では身体の不自由な人をサポートする、地域のボランティア活動に参加する、外国人と積極的に交流する。『世の中の仕組みを知る生活』は、世界で起きている出来事に目を向ける、紛争や難民の事を調べる、平和の大切さを理解する、そして何より授業で学んだことをマスターして、皆さんが知的にパワーアップする。SDGsには、『自分には何ができるか』を考える視点が欠かせません。その上で、大宮中の生徒会という個人より大きな組織でできることを実行する。よく学び、考え行動し、みんなのしあわせを求める大宮中生であってほしい。ちなみに杉並区の新しい教育ビジョンは、『みんなのしあわせを創る杉並の教育』がテーマです。SDGsにもつながります。覚えておいてください。😊

授業ぶらっと訪問⑬

12月16日（木）①～④ 英語 大宮 EGG

大宮 EGG（English Global Gateway）は、大宮中版の英語村です。英語の堪能な地域のスタッフをお招きして、一対一、一対複数で英会話のトレーニングをする授業です。来年度から始まる都立入試対策で、この授業は日本語禁止の時間です。英語スタッフの方は、NPO スクールアドバイスネットワークの方々に 13 名お招きしました。普段は小学校の英語授業のサポートを行っています。本時は、英会話の力を高めるために、一、二年生の英語漬けの機会にご協力いただきました。

一年生は「お祭りに誘う」と「旅行会社窓口で」のトピックで、英会話学習をします。生徒はチームで動きます。視聴覚室では、まず一対四で講師と四人の生徒が、10 分間でウォームアップします。スタッフが生徒の名前や好きなことを質問すると、それぞれの生徒が、簡単な自己紹介や趣味や好きなことを紹介します。最初は、緊張しているせいか、うまく言葉が出ない生徒もいます。四人がそれぞれスタッフと会話をする中で、徐々に英語が出てきます。一年生なりに積極的に英語が出てくる生徒と、固まりがちな生徒がいます。その後、一人ずつ隣の別室に呼ばれます。そこでは一対一の会話です。旅行会社の窓口で、「ハワイの海と山のどちらに行きたいか」「海なら何をしたいか」「ダイビング？パラセーリング？」といったことを英会話で、自分の希望を話すトピックに挑戦



しています。最後に Have a nice trip! Thank you. で終わりました。待っている生徒たちは、も

う一人のスタッフと、手元の教材で会話の練習をしていました。

もう一つのトピックは、英語で「お祭り（Festival）に誘う」です。スタッフは豚肉を食べられない友人に扮し、生徒は熊野神社の夏まつりの情報を聞かれて、いろいろ答えていきます。文化の違う人たちに、どうやって分かりやすく伝えるか、とても難しい課題です。「屋台で食べられるもの」

「焼き鳥やたこ焼き」

「それはポークかチキンか?」「屋台のゲームについて」「金魚すくい（Fish scooping というらしい）について」等々、矢継ぎ早に問答していました。スタッフは、会話を盛り上げようと、身振り手振りを交えて、生徒に質問をしています。横でスタッフの方を見ていると、英語をしゃべる時にテンションが確実に上がっています。待ち時間にスタッフの方に聞いてみると、日本人でも英語をしゃべる時は人格が変わるそうです。英語圏の人たちは、会話をするとき、本当に表情豊かにクルクル変わるそうです。好きなことには満面の笑み、嫌いなことは顔をしかめてという風に。それに身振り手振りが加わります。英語圏の人が、顔の半分が隠れるマスクを嫌う理由も分かる気がします。英語圏の人と英語を話す機会が増えると、自然に表情やジェスチャーがにぎやかになるんです、とスタッフの方は教えてくれました。

次の時間は二年生です。「電車の乗り換え（道案内）」と「お店での買い物」のトピックで学習します。一年生と同様に、まずチームでスタッフと雑談の英会話でチームビルディングを始めます。自己紹介、好きな食べ物、趣味などについて会話をします。テンションの高低はあっても、どの生徒も積極的に取り組んでいます。二年生は、一人ず



スタッフは身振り手振り、生徒はコチコチ

つの挨拶の声も、英語の経験値が高いせいもあり、一年生より声の大きいのは頼もしい。東京の鉄道網の書かれている地図を渡されて、自分たちのいる永福町から渋谷で乗り換え、東京の観光地のある駅まで、電車路線図を使って道案内をするようです。駅や路線、乗り換え方を英語で確認して、この後の一対一の会話の準備をしています。

もう一つの部屋は「お店で買い物」です。JYUNKUDO で本を買う。ユニクロでTシャツを買う。ルイヴィトンでカバンを買うといった設定です。クレジットカードを渡されて買い物をします。まずお店を選んで、買うものを決めて、といったことを英語で会話をしています。別の部屋では、カナダ人に永福町から品川で新幹線に乗りたくて尋ねられた設定です。その後、表参道に行きたいがどうしたらいいかと聞かれていました。それぞれのトピックで、生徒たちは英語を絞り出しながら奮闘していました。

二学期の部活動の活躍

バスケットボール

杉並区バスケットボール新人大会

男子 ベスト8

女子 出場

サッカー

部員が少ない中でも、外部のクラブチームに所属している生徒と一緒に楽しく活動しています。パス練習やゲームを中心に取り組んでいます。

ソフトテニス

杉並区新人大会個人戦出場

杉並区新人大会団体戦 第3位

都大会新人大会団体戦 出場

杉並区学年別研修大会 出場

卓球

杉並区新人大会 男子団体戦 優勝

杉並区新人大会 男子個人戦

優勝 野村直宏

5位 三島功大

第31回 東京都中学校卓球新人大会

男子団体戦 出場

第64回 東京都中学校卓球新人大会

男子個人戦 出場

第64回 東京都中学校卓球新人大会

女子個人戦 出場

スポーツチャンバラ

都民スポレクふれあい大会

中学生長剣優勝 福吉 龍

中学生小太刀第3位 藤原海音

小太刀刀法居合個人第3位 清水真優

小太刀刀法居合団体優勝 土屋考司

小太刀刀法居合団体優勝 清水真優

同準優勝 森本夏菜

同3位 藤田真陽、橋本和樹

ボランティア

「服のカプロジェクト」の企画・運営

自然科学

杉並子どもサイエンス・グランプリ参加。牛乳から作る生分解性プラスチックの研究を続けています。

美術

デッサン、イラスト、粘土など幅広い活動を行っています。

「夢のみちポスターコンクール」「トンボ1129 デザインコンクール」「工芸高校夢コンペ」に出品しました。

軽音楽部

3学期の部内発表会に向け練習を重ねています。学年ごとにバンドを組み、自分のパートを個人練習したり、合奏してみたり、表現したい音楽を演奏できるよう取り組んでいます。

フレンドクラブ

フライングディスクやランニング、工作などに取り組んでいます。また、各学期末には「C組の思い出」として模造紙でコラージュを作成し、廊下に掲示しています。

陸上（個人参加）

U16 全国大会 女子

1000m 第6位入賞 一兜咲子

東京都支部対抗大会 1年男子

1500m 第7位入賞 川口礼央

11 26 (金)

地域清掃

今年も、全校生徒で学校の周りの道路や公園の清掃を実施しました。大宮中の周辺は、二週間後に実施する駅伝のコースになっています。走りやすいようにきれいにしようという計画です。水道道路の雑木林に挟まれた切り通しの舗道も、駐在所の辻さんが交通整理に出動してくださり、大量の落ち葉を集めることができました。当日は20名ほどのPTAボラン



ティアの保護者の方々にも参加していただきました。ありがとうございました。

11 30 (火)

校外学習 (C組)

コロナ禍が落ち着きを見せる中で、C組で上野恩賜公園に校外学習に行ってきました。方南町駅集合で、班ごとに各自で切符を買って、二回の乗り換えをして、無事に上野に到着しました。天気も良く暖かい



上野公園の中を、徒歩で計画した見学場所をまわりました。東京国立博物館、国立科学博物館、不忍池、弁天堂などを巡って、展示物や建築物を鑑賞していました。C組の生徒たちは、久しぶりの校外学習で、電車の乗り継ぎや買い物学習を通して、学校ではできない体験学習を経

験することができました。

12 12 (日)

区駅伝大会

一年前の学校だよりを読み返すと、『結果は、男子が11位(5区中1年生4人のチーム)、女子は14位(3年エースが怪我で無念の欠場)』と載っていました。あれから一年間の成長でどんな走りをしてくれるか、とても楽しみにしていました。直前の朝礼では壮行会をおこない、全校で選手を激励しました。

11月の定期考査が終わってから、監督の渡辺先生、コーチの剣持、神戸、美田先生の指導の下で、代表候補の生徒たちは放課後に走り磨きをしてきました。自宅で自主練習をしていた生徒もいたそうです。直前に代表選考レースを行い、男女とも代表の切符をもらえる5番目にゴールした選手と、わずか1、2秒差の候補選手が何人もいる激戦でした。

大会当日は天気に恵まれ、快晴、無風の好コンディ



ション。女子は一区で一兜咲子選手(1年)が圧倒的な走りでもトップに立ち、そこから2年生が懸命に粘って9位でゴールしました。入賞まであと一歩(5秒差)でした。思うような走りができなかった選手が、戻ってきてからうすくまって悔しがる姿と、それを慰める周りの仲間の姿が、実に温かい。男子は一区漆谷仁選手(2年)がトップに立ち、そこから2位より下がることなく4区まで1位でタスキをつなぎ、アンカー5区大熊健太選手が残り200メートルまでトップを維持しましたが、最後に抜かれて2位でゴール! 1位との差はわずかに5秒。応援席は「うわ〜」「すごいな!」「惜しい」と大興奮でした。

コロナ禍で長期間、運動に制限のあった日頃の鬱憤を晴らす生徒の快走に、応援の保護者の方々は「あわや優勝! ?に興奮した!」「男女共よくやった」。地域の長老の方は「こんな大宮中、記憶がないよ。見に来て良かった」とニコニコ笑顔で話されていました。大宮中生もたくさん応援に来てくれました。果たして来年の男子は、もう一つ上の伝説を目指すのでしょうか。女子も入賞まであと一歩です。陸上部のない178名の本校の駅伝の躍進に一年後が楽しみです。

【女子】①一兜咲子②黒澤彩乃③青木香乃④茂木橙子⑤三瀬暖乃 (補) 寒河江まゆ、敷野俊子、酒井杏、森本夏菜

【男子】①漆谷仁②鬼島大悟③川口礼央④佐藤禅太⑤大熊健太 (補) 樺山資大、齋藤優生、市村幸太郎、小島竜矢

杉並区新教育ビジョン：『みんなのしあわせを創る杉並の教育』